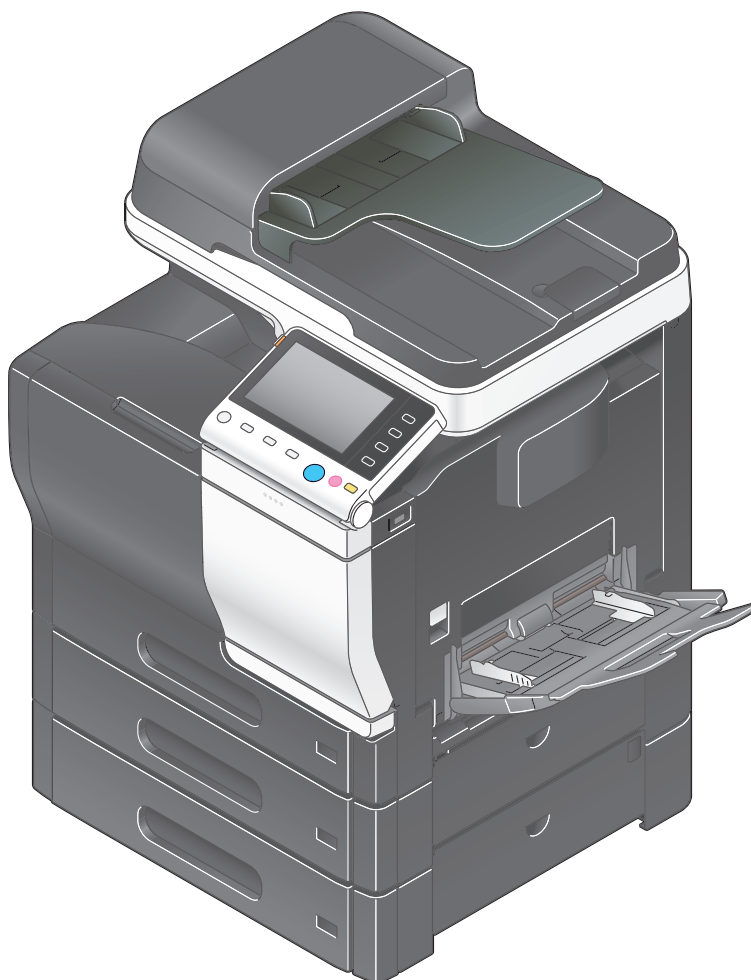


# **bizhub C3850**

## ユーザーズガイド 拡張機能編



# もくじ

## 1 拡張機能について

## 2 ライセンスキットを登録する

2.1	ライセンスの登録について .....	2-2
2.2	ライセンスを登録する .....	2-3

## 3 Web ブラウザー機能を使う

3.1	Web ブラウザー機能について .....	3-2
	Web ブラウザー機能でできること .....	3-2
	Web ブラウザーの仕様 .....	3-2
3.2	基本的な使い方 .....	3-3
3.2.1	Web ブラウザーを起動する .....	3-3
3.2.2	Web ブラウザーの構成 .....	3-4
	画面構成 .....	3-4
	ツールバーの内容 .....	3-4
3.2.3	Web ページを表示する .....	3-5
	URL を指定して表示する .....	3-5
	閲覧履歴から表示する .....	3-5
	ブックマークを表示する .....	3-5
3.2.4	表示中のページを操作する .....	3-6
	ブックマークを追加する（管理者向け） .....	3-6
	ウィンドウを操作する .....	3-6
	ウィンドウを画面全体に表示する .....	3-6
	表示中のページを拡大／縮小する .....	3-6
	Web ブラウザーを再起動する .....	3-6
3.2.5	Web 上のファイルを表示する .....	3-7
3.2.6	本機からファイルをアップロードする .....	3-8
	お使いになる前に .....	3-8
	原稿データを読み込んでアップロードする .....	3-8
3.2.7	使用環境を設定する .....	3-9
3.3	Web ブラウザーの使用を制限する .....	3-10
	Web ブラウザーの使用を禁止する .....	3-10
	ローカルコンテンツの利用を禁止する .....	3-10

## 4 ThinPrint システムと連携する

4.1	ThinPrint 機能について .....	4-2
4.2	お使いになるために必要な作業（管理者向け） .....	4-2

## 5 索引



## 拡張機能について

# 1 拡張機能について

本機で拡張機能をお使いいただくためには、拡張機能ごとに、オプションのライセンスキットを導入する必要があります。

利用可能な拡張機能と、購入が必要なライセンスキットとの対応は、次の表をごらんください。

ライセンスキット	機能	概要
i-Option LK-101 v3	Web ブラウザー	<p>本機のタッチパネルで、Web ブラウザーを使えます。</p> <p>ネットワークに接続された本機から、インターネットや社内ネットワーク上のコンテンツにアクセスして、ページを表示できます。</p> <p><b>■ ひとこと</b> Web ブラウザー機能を使うには、<b>拡張メモリ</b>が必要です。<b>拡張メモリ</b>については、サービス実施店にお問い合わせください。</p>
i-Option LK-106	バーコードフォント	ERP（Enterprise Resource Planning）システムなどから本機に送られるデータからバーコードを生成し、本機から印刷できます。プリンタードライバーを介さずに、直接印刷できます。
i-Option LK-107	ユニコードフォント	ERP（Enterprise Resource Planning）システムなどから本機に送られる多言語の文字情報（ユニコード）を印刷できます。プリンタードライバーを介さずに、直接印刷できます。
i-Option LK-108	OCR フォント	本機で OCR フォントを利用できます。OCR フォントは、OCR（Optical Character Recognition、光学文字認識）を利用するときに、正確に文字を認識できるように標準化されたフォントです。
i-Option LK-111	ThinPrint 機能	<p>本機で ThinPrint 機能が使えるように設定します。ThinPrint は、ThinPrint Engine (.print Engine) から ThinPrint Client (.print Client) へ印刷ジョブを送信するときに、データの圧縮や帯域制御を行うことで、スピーディーな印刷を実現する機能です。本機は、ThinPrint Client (.print Client) として動作します。</p> <p>詳しくは、4-2 ページをごらんください。</p>



## 2 ライセンスキットを登録する

## 2 ライセンスキットを登録する

### 2.1 ライセンスの登録について

本機で拡張機能をお使いいただくには、それぞれの機能に対応するライセンスキットを購入して、ライセンス管理サーバー（LMS、License Management Server）にライセンスの情報を登録する必要があります。また、LMS から発行されたライセンスコードを本機に登録して、本機で拡張機能を有効にする必要があります。

ライセンス登録の流れは、以下のとおりです。

---

#### ライセンスキットを購入する

- ライセンスキットに入っているトークン証書には、LMS でのライセンス登録に必要なトークン番号や、LMS の Web サイトのアドレスが記載されています。
  - トークン番号：拡張機能ライセンス購入のご契約を識別するためのコードです。



---

#### 本機を操作して、シリアル番号とリクエストコードを確認する

- シリアル番号とリクエストコードは、LMS でライセンス登録をするときに必要です。
  - シリアル番号：本機のシリアル番号です。
  - リクエストコード：本機を特定するためのコードです。



---

#### コンピューターから LMS の Web サイトにアクセスして、機能コードとライセンスコードを取得する

- 機能コードとライセンスコードを取得するには、Web サイトでシリアル番号、リクエストコード、トークン番号の入力が必要です。
- 機能コードとライセンスコードは、本機で拡張機能を有効にするために必要です。
  - 機能コード：それぞれの拡張機能を識別するためのコードです。
  - ライセンスコード：それぞれの拡張機能を有効にするためのコードです。



---

#### 本機で機能コードとライセンスコードを入力し、拡張機能を有効にする



---

完了

---

## 2.2 ライセンスを登録する

- 1 ライセンスキットを購入します。  
→ ライセンスキットに入っているトークン証書が、LMS でのライセンス登録に必要になります。
- 2 本機の**操作パネル**で〔設定メニュー〕-〔管理者設定〕-〔ライセンス管理〕-〔リクエストコード発行〕をタップします。  
画面に本機のシリアル番号とリクエストコードが表示されます。

機能を選択してください。

シリアルナンバー	↑
A0ED002012345	001
リクエストコード	001
AXGGS-49U6B-PTZ26-W5FAD-YB8PC-RYC6G	↓

閉じる

- 3 インターネットに接続できるコンピューターから、Web ブラウザーを開いて、ライセンス管理サーバー（LMS）の Web サイトに接続します。  
→ Web サイトのアドレス：https://lms.konicaminolta.com/index.aspx
- 4 シリアル番号とリクエストコードを入力し、次へ進みます。

言語 Japanese

ライセンスコード発行 お知らせ

ライセンスコード発行

複合機情報登録 → トークン番号登録 → 登録内容確認 → ライセンスコード発行

シリアル番号 \*

リクエストコード (30) \*

次へ

- 5 トークン番号を入力して、購入する商品名を選び、次へ進みます。  
→ トークン番号は、ライセンスキットに入っているトークン証書に記載されています。

言語 Japanese

ライセンスコード発行

トークン番号登録

複合機情報登録 → トークン番号登録 → 登録内容確認 → ライセンスコード発行

シリアル番号 \*

リクエストコード \*

トークン番号 (20) \*

商品名 \*

登録 戻る

## 6 登録した内容を確認して、ライセンスコードを発行します。

ライセンスコード発行

登録内容確認

複合機情報登録 → トークン番号登録 → 登録内容確認 → ライセンスコード発行

シリアル番号

リクエストコード

ライセンスコード発行 戻る

トークン番号	商品名
	I-Option LK-

機能コードと、ライセンスコードが発行されます。メモなどに控えておくか、Web ページを印刷してください。

→ 「USB 出力」は使用しないでください。本機は USB メモリーを使用した拡張機能の有効化には対応していません。

ライセンスコード発行

ライセンスコード発行完了

複合機情報登録 → トークン番号登録 → 登録内容確認 → ライセンスコード発行

ライセンスコード発行を完了しました。

シリアル番号

ライセンスコード

機能コード

商品名  
I-Option LK-

USB出力 印刷 Top画面に戻る

## 7 本機の操作パネルで「設定メニュー」-「管理者設定」-「ライセンス管理」-「有効化」をタップし、LMS のWeb サイトで発行された機能コードとライセンスコードを登録します。

→ Web Connection で機能コードとライセンスコードを登録することもできます。管理者モードの「システム」-「ライセンス管理設定」-「機能有効化」で、機能コードとライセンスコードを登録します。

機能を選択してください。

001 001

機能コード

ライセンスコード

確定 閉じる

## 8 「確定」をタップします。





Web ブラウザー機能を使う

## 3 Web ブラウザー機能を使う

### 重要

使用者は、複合機の Web ブラウザーを使用してアクセス、ダウンロード、アップロードした内容、およびその他の通信した内容について責任を負います。

使用者は、会社の規則および国の法律に従うものとします。コニカミノルタ株式会社およびそのグループ会社は、使用者のインターネットのご利用について、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 3.1 Web ブラウザー機能について

### Web ブラウザー機能でできること

本機で Web ブラウザー機能を有効にすると、本機のタッチパネルで、Web ブラウザーを使えます。

Web ブラウザー機能では、次のことができます。

- インターネットやイントラネット上の Web コンテンツの表示
- インターネットやイントラネット上のファイルの表示
- 読込んだ原稿データのアップロード（インターネット上およびイントラネット上のサーバー）
- Web Connection へのアクセス



### 参考

本機で Web ブラウザー機能を使うには、オプションの i-Option LK-101 v3 と拡張メモリが必要です。拡張メモリについては、サービス実施店にお問い合わせください。

### Web ブラウザーの仕様

本機で使用する Web ブラウザーの主な仕様は、次のとおりです。

項目	仕様
ブラウザーエンジン	WebKit
プロトコル	HTTP(HTTP/0.9、1.0、1.1)、HTTPS、TCP/IP
マークアップ言語	HTML 4.01、HTML 5 の一部、XHTML 1.1/Basic
スタイルシート	CSS1、2、3
スクリプト言語	JavaScript 1.7、ECMAScript 3rd Edition、Ajax(Javascript のサポート内に限る)
DOM	Level 1、2
ファイル形式	JPEG、BMP、PNG、GIF、アニメーション GIF、PDF
SSL/TLS バージョン	SSL 3.0、TLS 1.0
文字コード	日本語 (Shift_JIS)、日本語 (ISO-2022-JP)、日本語 (EUC-JP)、簡体字中国語 (GB2312)、繁体字中国語 (Big5)、西ヨーロッパ言語 (ISO-8859-1)、Unicode(UTF-8)
PDF 閲覧ソフトウェア	Adobe® Reader® LE

## 3.2 基本的な使い方

### 3.2.1 Web ブラウザーを起動する

Web ブラウザーは、次の操作で起動します。

- トップメニューから [Web ブラウザー] をタップする
- [Web ブラウザー] を割当てた登録キーを押す



Web ブラウザーを起動すると、あらかじめ設定されたホーム画面が表示されます。



#### 参考

ユーザー認証や部門管理を導入していない場合に、操作パネルの [ID] をタップすると、Web ブラウザーが再起動します。



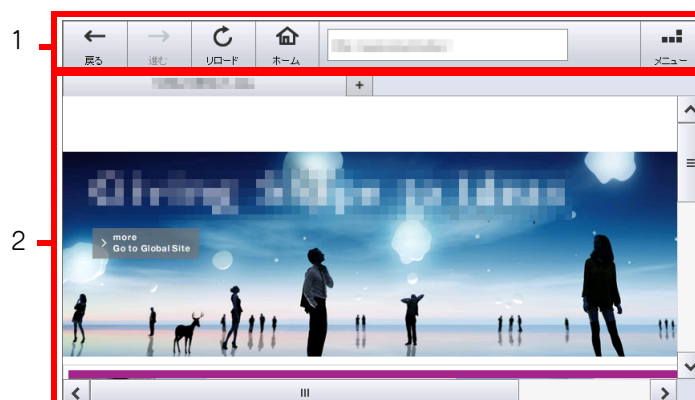
#### 参照

登録キーから Web ブラウザーを起動するには、登録キーに Web ブラウザーを割当てする必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド はじめにお読みください] の 7 章「操作パネルについて」をごらんください。

### 3.2.2 Web ブラウザーの構成

#### 画面構成

Web ブラウザーの画面は、次のように構成されています。



No.	名前	説明
1	ツールバー	ツールバーのアイコンをタップすると、ページの移動や再読み込みができます。 アドレス入力欄に URL を入力すると、直接 URL で指定したページを表示できます。 また、Web ブラウザーの設定ができます。 ツールバーについて詳しくは、3-4 ページをごらんください。
2	ウィンドウ	読み込んだページの内容を表示します。 複数のウィンドウを表示しているときは、上部にタブが表示されます。タブをタップすると、ウィンドウを切換えられます。 タブは 5 つまで表示できます。 タブの [x] をタップすると、ページを閉じます。

#### ツールバーの内容

ツールバーでは、次のボタンを利用できます。

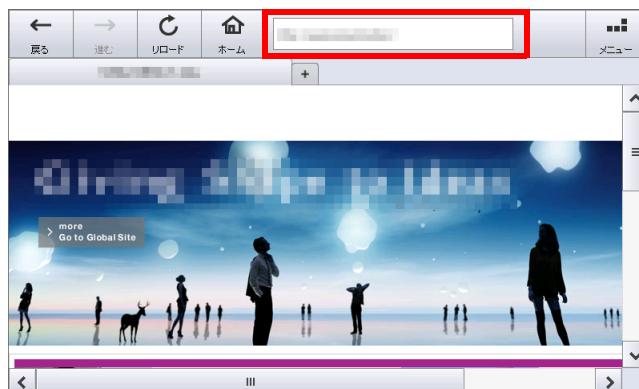
アイコン	説明
[戻る]	前のページに戻ります。
[進む]	次のページに進みます。
[リロード]	表示しているページを再度読み込んで、最新の内容に更新します。 ページの読み込み中にタップすると、ページの読み込みを中止します。
[ホーム]	ホームとして登録したページを表示します。 初期設定は、空白ページが登録されています。
[メニュー]	Web ブラウザーの設定をします。 メニューには、ユーザー用のメニューと管理者用のメニューがあります。

### 3.2.3 Web ページを表示する

#### URL を指定して表示する

ツールバーにページの URL を入力して、直接ページを表示します。

ツールバーのテキスト入力欄をタップすると、画面にキーボードが表示されます。表示したいページの URL を入力して、[OK] をタップします。



#### 閲覧履歴から表示する

これまでに表示したページの一覧から、表示したいページを選べます。

ツールバーの [メニュー] - [履歴] をタップすると、これまで表示したページの一覧を表示します。

一覧から表示したいページを選び、[同じタブで開く] または [新しいタブで開く] をタップします。



#### 参考

- 履歴を削除するには、本機の管理者パスワードの入力が必要です。  
[すべて削除]：履歴をすべて削除します。  
[削除]：選んだページを、履歴の一覧から削除します。
- 本機では、ページの閲覧履歴を 100 件まで保存できます。

#### ブックマークを表示する

本機に登録されているブックマーク (お気に入り) の一覧から、表示したいページを選べます。

ツールバーの [メニュー] - [ブックマーク] - [ブックマーク] をタップすると、本機に登録されているブックマークの一覧を表示します。一覧から表示したいページを選び、[同じタブで開く] または [新しいタブで開く] をタップします。



#### 参考

- ブックマークの一覧の表示方法を [リスト表示] または [サムネイル表示] から選べます。
- ブックマークを編集または削除するには、本機の管理者パスワードの入力が必要です。  
[編集 / 削除]：選んだブックマークを編集または削除します。  
[すべて削除]：ブックマークをすべて削除します。



#### 参照

ブックマークの追加のしかたについて詳しくは、3-6 ページをごらんください。

### 3.2.4 表示中のページを操作する

#### ブックマークを追加する（管理者向け）

表示しているページを、本機にブックマーク（お気に入り）として追加できます。

ブックマークを追加するときには、本機の管理者パスワードの入力が必要です。

ブックマークとして追加したいページを表示し、[メニュー] - [ブックマーク] - [ブックマーク追加] をタップします。必要に応じて、ページのタイトルを変更して、[OK] をタップします。



#### 参考

本機では、ブックマークを 100 件まで保存できます。

#### ウィンドウを操作する

ツールバーの [メニュー] - [タブ] で、タブを操作できます。

設定	説明
[新しいタブ]	新しいタブを開きます。
[タブを閉じる]	現在表示しているタブを閉じます。

#### ウィンドウを画面全体に表示する

ツールバーの [メニュー] - [全画面表示] をタップすると、ウィンドウを画面全体に表示できます。全画面表示で [標準表示] をタップすると、元の表示に戻ります。

#### 表示中のページを拡大／縮小する

ツールバーの [メニュー] - [表示] で、ページの拡大や縮小ができます。

設定	説明
[ズームイン]	ページを拡大して表示します。
[ズームアウト]	ページを縮小して表示します。
[ズームのリセット]	ページの拡大・縮小率を、等倍に戻します。
[文字サイズだけ変更]	チェックをつけると、[ズームイン] または [ズームアウト] を選んだときに、文字の大きさだけが拡大または縮小されます。
[フォント]	フォント指定のないコンテンツを表示するときに使うフォントを選びます。本機の管理者パスワードの入力が必要です。



#### 参考

ダブルタップ、ピンチイン / ピンチアウトでページを拡大または縮小することもできます。

#### Web ブラウザーを再起動する

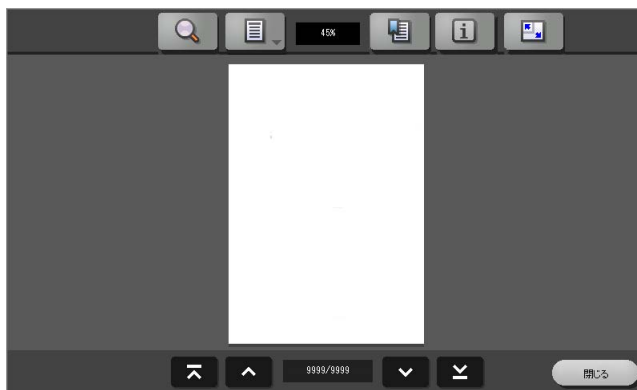
ツールバーの [メニュー] - [再起動] をタップすると、Web ブラウザーが再起動します。

### 3.2.5 Web 上のファイルを表示する

表示したページにファイルへのリンクがあるときは、リンク先のファイルを本機のタッチパネルに表示できます。

本機では、PDF 形式のファイルを表示できます。

- 1 表示したいファイルへのリンクをタップします。  
リンク先の PDF ファイルがタッチパネルに表示されます。



- 2 ツールバーを操作して、ファイルの内容を確認します。

#### 参考

以下のジェスチャーを使っても、ファイルの内容を確認できます。

- スワイプ：前後のページを表示します。
- ピンチイン/アウト：ページを拡大または縮小します。
- ローテーション：ページを回転します。

### 3.2.6 本機からファイルをアップロードする

#### お使いになる前に

本機の Web ブラウザーを使って、本機で読込んだ原稿データを Web サイトにアップロードできます。

本機からファイルをアップロードするときは、次の点にご注意ください。

- 同時に複数のファイルをアップロードできません。
- アップロードするファイルを選んだあと、次の操作が行われたときは、ジョブが削除されます。また、選んだファイルも削除されます。
  - システムオートリセット機能が作動したとき
  - Web ブラウザーを閉じたとき
  - Web ブラウザーのツールバーの操作などにより、ページを更新したとき
  - Web ブラウザーを再起動したとき
  - 本機からログアウトしたとき
  - 電源を OFF にしたとき
  - リセットを押して、パネルをリセットしたとき

#### 原稿データを読込んでアップロードする

- 1 本機の Web ブラウザーで、ファイルをアップロードするページを表示し、[参照] をタップします。
- 2 アップロードする原稿を本機にセットします。
- 3 必要に応じて、読み込み設定を変更します。
- 4 スタートを押します。  
読み込みが終了すると、ページのテキストボックスに、読込んだ原稿データのファイル名が表示されます。
- 5 [OK] をタップします。  
ファイルのアップロードが開始されます。



### 3.2.7 使用環境を設定する

ツールバーの[メニュー] - [設定] をタップすると、Web ブラウザーの詳細な設定ができます。[設定] を表示するには、本機の管理者パスワードの入力が必要です。

[本体データ 1] タブ

設定	説明
[キャッシュ]	必要に応じて、Web ブラウザーのキャッシュ機能の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [キャッシュを利用する]：チェックをつけると、Web ブラウザーでキャッシュ機能を使います。</li> <li>・ [キャッシュを削除]：本機に保存されているキャッシュデータを、すべて削除します。</li> <li>・ [キャッシュを削除するタイミング]：キャッシュデータを削除するタイミングを選びます。</li> </ul>
[Cookie]	Cookie を使うときは、[Cookie を受信する] にチェックをつけます。
[JavaScript]	ページに埋込まれている JavaScript を有効にするときは、[JavaScript を有効にする] にチェックをつけます。
[プロキシ設定]	プロキシの使用に関する設定をします。 プロキシを使う場合は、プロキシサーバーのアドレスやポート番号を入力します。 プロキシ認証が必要な場合は、プロキシ認証で使う ID とパスワードを入力します。
[セキュリティ設定]	SSL/TLS を使うように設定できます。 また、ルート証明書や CA 証明書を表示できます。

[本体データ 2] タブ

設定	説明
[ホームページ]	ホームページとして登録するページの URL を入力します。 [現在のページを設定] をタップすると、現在表示しているページがホームページとして登録されます。
[スタートアップ]	Web ブラウザーを起動したときに表示するページを選びます。
[Cookie]	Web ブラウザーの Cookie 機能の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Cookie 管理]：本機に保存されている Cookie を一覧で表示します。</li> <li>・ [Cookie を削除するタイミング]：Cookie を本機から削除するタイミングを選びます。</li> </ul>
[認証情報]	Web ブラウザーの認証情報（パスワードなど）の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [認証情報を削除]：本機に保存されている認証情報を、すべて削除します。</li> <li>・ [認証情報を削除するタイミング]：認証情報を本機から削除するタイミングを選びます。</li> </ul>

## 3.3 Web ブラウザーの使用を制限する

### Web ブラウザーの使用を禁止する

Web ブラウザーを使わせたくない場合など、ライセンスを無効にすることなく、Web ブラウザーを使えなくできます。

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [Web ブラウザー設定] をタップします。
- 2 [無効] を選び、[OK] をタップします。



#### 参照

本機でユーザー認証を導入している場合は、ユーザーごとに Web ブラウザーの使用を制限できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

### ローカルコンテンツの利用を禁止する

本機で IWS (Internal Web Server) 機能を有効にすると、本機のハードディスクに Web ページコンテンツ (ローカルコンテンツ) を転送して、本機の Web ブラウザーから利用できます。お使いの環境に合わせて、静的なコンテンツのほか、スクリプトを使った動的なコンテンツも利用できます。

本機の管理者は、必要に応じて、本機のハードディスクに保存したローカルコンテンツを、本機の Web ブラウザーから利用できないように設定できます。

- ✓ IWS 機能およびローカルコンテンツについて詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [セキュリティ詳細] - [Web ブラウザーコンテンツアクセス] をタップします。
  - 2 [禁止] を選び、[OK] をタップします。



## ThinPrint システムと連携する

## 4 ThinPrint システムと連携する

### 4.1 ThinPrint 機能について

ThinPrint は、ThinPrint Engine (.print Engine) から、ThinPrint Client (.print Client) へ印刷ジョブを送信するときに、データの圧縮や帯域制御を行うことで、スピーディーな印刷を実現する機能です。

本機は、ThinPrint Client (.print Client) として動作します。



#### 参考

ThinPrint 機能を使うには、オプションの i-Option LK-111 が必要です。

### 4.2 お使いになるために必要な作業（管理者向け）

Web Connection の管理者モード - [ネットワーク] - [ThinPrint 設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[.print client 設定]	本機で ThinPrint のプロトコルを使うかどうかを選びます。 本機を ThinPrint Client (.print Client) として動作させる場合は、[有効]を選びます。 初期値は [無効] です。
[ポート番号]	接続する ThinPrint Engine (.print Engine) のポート番号を入力します。 初期値は [4000] です。
[圧縮データサイズ]	ThinPrint Engine (.print Engine) 側でデータを圧縮するときの、パケットサイズの上限を、128 ～ 64000 の範囲で指定します (単位: バイト)。 ThinPrint Engine (.print Engine) は、このサイズごとにデータを圧縮してから、本機に印刷ジョブを送信します。 初期値は [8192] です。
[タイムアウト]	ThinPrint Engine (.print Engine) からの接続タイムアウトの値を、5 ～ 300 の範囲で入力します (単位: 秒)。 初期値は [90] です。
[プリンタークラス]	ThinPrint Engine (.print Engine) で使用する、本機のプリンタークラス名を入力します (全角/半角 7 文字以内)。
[プリンター名]	ThinPrint Engine (.print Engine) で使用する、本機のプリンター名を入力します (全角/半角 32 文字以内)。
[Connection Service 設定]	Connection Service を使うかどうかを選びます。 初期値は [無効] です。
[サーバーアドレス]	Connection Service を提供するサーバーのアドレスを入力します。 次のいずれかのフォーマットで入力します。 ・ ホスト名の入力例: 「host.example.com」 ・ IP アドレス (IPv4) の入力例: 「192.168.1.1」
[ポート番号]	Connection Service で使っているポートの番号を入力します。 初期値は [4001] です。
[AYT 周期]	Connection Service の動作を確認するために、再接続を行う周期を入力します (単位: 秒)。 初期値は [60] です。
[クライアント ID]	Connection Service で使う、本機のクライアント ID を入力します。 初期値は [1] です。
[認証キー]	Connection Service と接続するときに使う、認証キーを入力します。 初期値は [0] です。
[サーバー接続状態確認]	Connection Service との接続状態を表示します。 [更新] をクリックすると、最新の状態に更新します。

---

# 5

## 索引

## 5 索引

### I

i-Option ..... 1-2

### T

ThinPrint ..... 4-2

    概要 ..... 4-2

    設定 ..... 4-2

### W

Web ブラウザー ..... 3-2

### か行

拡張機能 ..... 1-2

機能コード ..... 2-2

### た行

トークン番号 ..... 2-2

### ら行

ライセンスキット ..... 1-2

ライセンスコード ..... 2-2

ライセンス登録 ..... 2-3

リクエストコード ..... 2-2



KONICA MINOLTA

国内総販売元  
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社  
製造元  
コニカミノルタ株式会社